市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	優良雌牛導入事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー3ー(7)ーア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー1ー(6)
事業内容	繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家又は優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に、当該雌牛の導入に係る経費に対して支援を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額	34,200	31,985	26,625	22,925	25,000
	(b) 予算現額	34,200	31,985	26,625	22,925	25,000
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	34,200	31,985	26,625	22,925	25,000
	B. 執行済額	34,200	31,618	25,574	22,925	21,814
	うち交付金充当額	27,360	25,294	20,459	18,340	17,451
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率（%）(B/A)	100.0%	98.9%	96.1%	100.0%	87.3%
	予算の状況の説明	不用額3,186千円は、優良雌牛を予定より安価に導入することができたことによるものである。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
優良雌牛導入	目　標	（70頭）	（60頭）	（50頭）	（50頭）
	実　績	73頭	62頭	54頭	56頭
達成状況説明	予定より安価に導入できたことから、目標値を上回るし56頭を導入できた。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合	目　標	（　）	（105%以上）	（105%以上）	（105%以上）	（　）
	実　績		104%	106%	106%	
進捗状況説明	優良雌牛から生まれた子牛の平均価格525,816円、そうでない牛から生まれた子牛の平均価格492,285円となっており、価格差は106%で目標値を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・本事業で導入した優良雌牛から生まれた子牛を次の世代の母牛として保留するなど優良母牛への更新も促したことで価格差が徐々に表れている。	・安定した子牛の産地の確立に向けて、本事業により導入した母牛の子牛のセリにおける出荷頭数割合を現在の23%から50%に引き上げる必要がある。

今後の取り組み方針

・優良雌牛から生まれた子牛の母牛としての保留を強化するとともに、新規就農者や畜舎増築をした者を優先に導入牛を割当することで優良雌牛の増頭に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
49,336	21,814	17,451	4,363	27,522

久米島町
21，814千円

補助金
21，814千円

JAおきなわ久米島支店
21，814千円

（優良繁殖雌牛導入補助）

（ほか組合負担分（交付対象外経費）
27，522千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は沖縄県農業協同組合であり、交付要綱に基づき選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は畜産業の進行を図る上で必要な経費であり、適正な規模であった。 ○受益者は沖縄県農業協同組合久米島支店であり、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	久米島紬販売促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー3ー(10)ーイ 地域資源を活用した特産品の振興
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(4)
事業内容	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,579	1,692	1,630	2,106	2,287
	(b) 予算現額	2,579	1,692	1,630	2,106	3,187
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	900
	(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	2,579	1,692	1,630	2,106	3,187
	B. 執行済額	1,810	1,294	1,017	1,668	2,752
	うち交付金充当額	1,448	1,035	813	1,334	2,201
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		70.2%	76.5%	62.4%	79.2%	86.4%
予算の状況の説明		不用額435千円は一部物産展に出展を見合わせたため生じたものである。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 H30年度	R1年度	R2年度	R4年度
物産展等への出展	目　標	（8回）	（出展）	（出展）	（出展）
	実　績	6回	4回出展	1回	3回
呉服店（問屋）へのセールス	目　標	（－）	（実施）	（実施）	（実施）
	実　績	－	別事業で実施	別事業で実施	1回
試作品の製作	目　標	（6反）	（開発）	（6反）	（ウェディング1着）
	実　績	6反	6反開発	5反	ウェディング1着 琉装2着
試着室の整備	目　標	（－）	（－）	（－）	（整備）
	実　績	－	－	－	整備完了
アドバイザーの招聘	目　標	（－）	（－）	（－）	（招聘）
	実　績	－	－	－	3回
プロモーション動画の作成	目　標	（－）	（－）	（－）	（作成）
	実　績	－	－	－	2本

達成状況説明

・県内外の物産展が通常開催となり県外1回、県内2回出展した。出展を予定していた物産展のうち開催方法の変更及び規模の縮小があり出展を見合わせた物産展もあった。
・新商品開発については、需要が高まりつつあるフォトウェディング等で活用するウェディングドレス1着、琉装を2着制作した。
・アドバイザー招聘については、顧客管理や小物類の見直し、価格設定等の研修、勉強会を実施した他、定期的にオンラインでも調整を行った。
・販促用のプロモーション動画をロング1本、ショート2本製作した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額　6,300万円以上	目　標	（　）	（6,150万円以上）	（6,300万円以上）	（6,500万円以上）	（　）
	実　績		5,557万円	6,224万円	6,898万円	
久米島紬及び関連商品の年間売上高 ②小物売上額　1,200万円以上	目　標	（　）	（1,550万円以上）	（1,200万円以上）	（1,200万円以上）	（　）
	実　績		692万円	768万円	1,043万円	

進捗状況説明

①反物売上額については、6,898万円となり目標を上回った。
②小物売上額については、目標値に届かなかったが、コロナ禍の制限が無くなり、昨年、一昨年の実績を上回ることができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①物産展の通常開催や他産地の生産量が減り受注が増えたことが目標達成の主な要因である。 ②観光客等のショップの入館数は昨年、一昨年に比べ増加傾向にあるが、コロナ禍以前の集客数には至らなかったことが目標未達成の主な要因である。	①反物の問屋からの受注に対して、織子の生産反数に限りがあり供給が追い付いていない状況である。需要の高まりに対応できる製作技術の向上が必要である。 ②現在のニーズにあった商品（小物）を引き続き制作するとともに、ショップへの誘客を促進する仕組みづくりを行う必要がある。

今後の取り組み方針

①生産数量の安定化に向けて、織子全体のスキルアップを目的とした講習会の開催を検討する。
②アドバイザーを招聘し原価計算や商品分析を行いニーズあった商品を制作するとともに、空港やホテル等にてプロモーション動画を上映し、ショップへの誘客に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,058	2,752	2,201	551	306

久米島町
2，752千円
→ 補助金
2，752千円
→ 久米島紬事業協同組合
2，752千円
（久米島紬販売促進事業）

（ほか組合負担分（交付対象外経費）
306千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である紬組合は、紬製造業従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○不用額は生じたものの、新型コロナウイルス感染症の影響による旅費の減によるものであり、予算規模は久米島紬の振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。 ○受益者である紬組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目・使途については精算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	久米島特産品販路開拓事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー3ー(10)ーイ
					地域資源を活用した特産品の振興
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー1ー(4)
事業内容	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	■直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,229	11,838	9,814	8,367	8,538
	(b) 予算現額	10,229	11,838	7,665	8,367	8,538
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 2,149	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	10,229	11,838	7,665	8,367	8,538
	B. 執行済額	9,425	10,345	6,033	4,456	8,220
	うち交付金充当額	7,540	8,275	4,826	3,564	6,576
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		92.1%	87.4%	78.7%	53.3%	96.3%

予算の状況の説明：一部取り組み内容変更はあったが、計画どおり執行できた。

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
県内外での物産展開催、出展	目　標	（8回）	（2回）	（5回）	（5回）
	実　績	6回	2回（オンライン）	3回（うちオンライン2回）	5回出展（県内3回、県外1回）
販売促進店舗ガイドマップ作成	目　標	特産品紹介パンフレット韓国語版（7,000部）	特産品紹介パンフレット英語（10,000部）	（－）	（2種 10,000部）
	実　績	7,000部	韓国語版・7,000部	－	2種作成 10,000部作成
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
・県内外での物産展について、県内3回、県外1回出展し特産品のPRを実施した。
・販売促進店舗ガイドマップについては、計画どおり2種作成した

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
開催、出展した物産展における島特産品の販売額	目　標	（　）	（3,165万円以上）	（3,550万円以上）	（2,352万円以上）	（　）
	実　績		399万円	456万円	1,506万円	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
・令和４年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況が比較的落ち着き通常開催としたが、目標値に届かなかった。

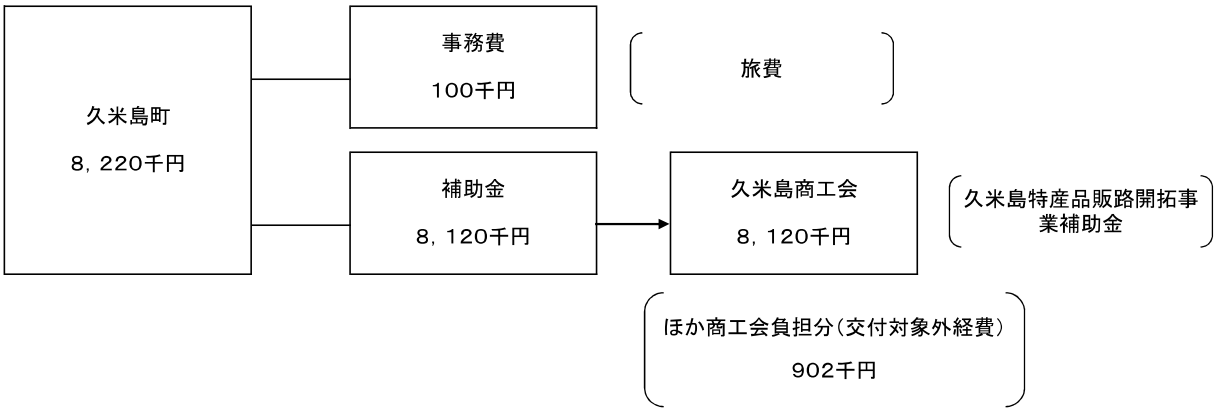
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・令和4年度は、新型コロナ感染症の拡大が比較的落ち着き、各種物産展・催事を開催することができたが、飲食の提供や芸能のステージを設けなかったことが目標値に届かなかった主な要因と考えられる。	・飲食スペースの確保や、芸能ステージの実施など集客につながる企画を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・飲食スペースの確保や、芸能ステージの実施をはじめ集客の増加につながる内容を関係者で協議し、開催に当たってはSNSを効果的に活用した情報発信に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,122	8,220	6,576	1,644	902



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は商工会であり、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた物産展への出店回数減により不用が生じた。予算規模はオンライン物産展等開催する上で必要な経費であり適正な規模であった。 ○受益者である商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断して妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査をしており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	地域型就業意識向上支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-（11）ーウ 若年者の活躍促進
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成30～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3-(2)
事業内容	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H29年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額		10,116	11,369	8,344	8,946
	(b) 予算現額		10,116	8,701	7,620	7,491
	(c) 増減額 (b-a)		0	▲ 2,668	▲ 724	▲ 1,455
	(d) 繰越額		0	0	0	0
	A. 計 (b+d)		10,116	8,701	7,620	7,491
	B. 執行済額		10,116	7,759	7,620	6,556
	うち交付金充当額		8,093	6,207	6,096	5,244
次年度繰越額			0	0	0	0
執行率（%）(B/A)			100.0%	89.2%	100.0%	87.5%

予算の状況の説明：不用額935千円は、今年度は島内の事業者と業務委託を締結したことにより、調整等に係る渡航費用等を抑えることができ、事業の実施状況に応じて予算の減額を行ったものである。

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
①ジョブシャドウイング（小）	目標	（実施）	（実施）	（実施）	（実施）
	実績	実施	実施	一部未実施	実施
②インターンシップ（高）	目標	（職場体験実施・支援）	（実施）	（実施）	（実施）
	実績	実施	実施	内容を変更して実施	内容を変更して実施
③職場体験（中）	目標	（久米島高校との連携）	（実施）	（実施）	（実施）
	実績	一部未実施	一部未実施	一部未実施 他内容を変更し実施	一部未実施 他内容を変更し実施
④職業人講話（小中高）	目標	（職業体験型イベントの開催）	（開催）	（開催）	（開催）
	実績	実施	内容を変更し実施	内容を変更し実施	内容を変更して実施
⑤就業体験型イベント（小）	目標	（リーダー育成プログラム）	（実施）	（実施）	（実施）
	実績	実施	実施	内容を変更して実施	実施
⑥グッジョブ連携協議会の開催	目標	（協議会の開催）	（開催）	（開催）	（開催）
	実績	実施	開催	開催	開催
⑦追跡調査の実施	目標	（　）	（　）	（実施）	（実施）
	実績			実施	実施

達成状況説明

- ジョブシャドウウイング（小）は、20事業者が児童を受入れ実施した。
- インターシップ（高）は、43事業者が生徒を受入れ実施した。うち12事業者の新規受入れ先を開拓できた。
- 職場体験（中）は、20事業者が生徒を受入れ実施した。
- 職業人講話（小中高）は、小学校5名、中学校2名、高校5名の講師による講話を実施した。
- 就業体験型イベント（小）は、小学校においてわくわくワーク体験を4回実施した。
- グッジョブ連携協議会は、計画どおり開催した。
- 事業効果を検証する追跡調査は、計画どおり実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
①各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して『良いイメージ』と回答した割合	目標	（　）	（　）	（90%以上）	（80%以上）	（　）
	実績			86%	92%	
②小中高と本事業のプログラムを実施してきた18歳の生徒へ追跡調査を実施し、「将来、本町で仕事につきたいと回答した割合	目標	（　）	（　）	（80%以上）	（50%以上）	（　）
	実績			63%	48%	

進捗状況説明

①本事業を通して就業に対して良い印象を抱いた割合は小学生が96%、中学生が90%、高校生が90%となり、平均92%で目標値を上回った。
②中学卒業後4年目の者を対象にアンケートを実施したところ、目標値を下回った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①受入事業者が増加し、児童・生徒のニーズに応じた体験ができつつあったことが目標値を上回った要因である。 ②目標値を下回った他、アンケート対象者84名に対して、回答が得られたのは21名であったことから、結果の正確性にも課題がある。	①引き続き児童・生徒のニーズを把握し、受入れ事業者を確保する必要がある。 ②アンケート回答率を向上する必要がある。

今後の取り組み方針

①児童生徒のニーズに合った職場体験となるよう事業者とのマッチングを行い、島内産業の魅力を伝えていく。
②対象者が回答しやすいよう引き続きインターネットを活用したアンケートを実施しつつ、回答を失念することのないよう周知・連絡を徹底する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,556	6,556	5,244	1,312	0

久米島町
6，556千円

→ 委託料
6，556千円

→ オフィス崎村
6，556千円

（就業意識向上支援事業委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は実績、ノウハウ等を勘案した上で随意契約により選定しており妥当であると考える。 ○一部実施困難な取組があった為不用額が生じたが、その他適正な予算規模であった。 ○事業内容から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-④	ブランディングサポート事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー3ー(10)ーイ 地域資源を活用した特産品の振興
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－9－(2)

事業内容

特産品製造事業者等の売上向上を図るため、既存の特産品のブラッシュアップ・ブランディングや、実販売・オンライン販売の強化に向けたセミナー等を実施する。

効果発現年度　■当年度　□後年度（　　年度）

実施方法　□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,208				
	(b) 予算現額	1,208				
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	1,208	0	0	0	0
B. 執行済額		1,208				
うち交付金充当額		966				
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：・計画どおり執行できた。

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ブランディングセミナーの開催	目　標	（10回）	（　）	（　）	（　）
	実　績	6回			
沖縄県内先進地視察研修	目　標	（1回）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1回			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
・ブランディングセミナーは、当初10回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により内容を見直して6回開催した。
・沖縄県内先進地視察研修は、新型コロナウイルスが比較的落ち着いた11月に実施し、本島内の7箇所を往訪した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
セミナー参加事業所へアンケートを行い「事業継続していく上で効果があったか」の問いに対する「効果的であった」と回答した割合	目　標	（　）	（80%以上）	（　）	（　）	（　）
	実　績		80%			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：10事業者の参加があり目標値と同値のアンケート結果となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	参加者全員向けのセミナー、個別相談を継続して行うことで、各事業者の既存商品等に必要な部分や工夫すべき点を把握できたことが目標を達成した主な要因である。	把握した改善すべき点を踏まえ、現在のニーズを捉えた特産品のブランディングに取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

本事業で得たスキルを生かして引き続き特産品のブラッシュアップ・ブランディングに取り組み、改良した特産品を物産店等に出展し消費者への意見を募り完成につなげていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,401	1,208	966	242	193

久米島町
1，208千円

→ 補助金
1，208千円

→ 久米島商工会
1，208千円

（ブランディングサポート事）

（ほか商工会負担分（交付対象外経費）
193千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である久米島商工会は、島内事業者の支援機関として組織された公的機関である。また実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は島内事業者の振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。 ○受益者である久米島商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目・使途については精算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	観光誘客促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー3ー(2)ーウ 多彩かつ質の高い観光の推進
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー1ー(1)

事業内容

観光地としての知名度向上を図るため、「久米島観光の日」イベントの開催や県内外のイベントでのPR活動を行うとともに、観光閑散期対策としてLCCを活用した久米島、宮古島周遊ツアーの造成に向けた支援を行う。また、観光客の利便性を確保するため、久米島空港内に観光案内所を設置する。

効果発現年度　■当年度　□後年度（　　年度）

実施方法　■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,030	10,520	7,299	8,119	8, 119
	(b) 予算現額	9,041	8,882	6,510	8,119	11, 136
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,989	▲ 1,638	▲ 789	0	3,017
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	9,041	8,882	6,510	8,119	11,136
	B. 執行済額	7,517	7,957	5,748	6,275	9,256
	うち交付金充当額	6,013	6,365	4,598	5,020	7,405
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率（%）(B/A)	83.1%	89.6%	88.3%	77.3%	83.1%
	予算の状況の説明	観光広報業務にて本町調性20周年記念としたイベント開催に伴い、増額を行った。 不用額1,880千円は、主に観光閑散期の誘客促進として計画していたチャーター便就航支援業務において、機材が調達できず未実施となったことによるものである。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
・観光広報活動（「久米島観光の日」イベント開催、県内イベント参加4件、県外イベント参加1件）	目　標	（　6件　）	（　3件　）	（　県内4件 県外1件　）	（　県内4件 県外1件　）
	実　績	6件	1件	県内1件 県外0件	県内2件 県外0件
・久米島空港観光案内業務	目　標	（　3名　）	（　3名　）	（　3名　）	（　3名　）
	実　績	3名	3名	3名	2名
・2離島周遊ツアーの造成	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　造成　）
	実　績				未実施

達成状況説明

・観光広報活動は、新型コロナウィルス感染症の蔓延が収束しておらず、県外でのイベントを最小限で参加する計画としていたが、派遣に適するイベントが無く出展を見送ったため、目標値に届かなかった。
・久米島空港観光案内業務は、予め繁忙期の予約状況を把握することで2名体制で案内することができた。
・2離島周遊ツアーは、チャーター便の就航に必要な機材の確保ができず未実施となった。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
①島外でのイベント来場者にアンケートを実施し、久米島に「いま訪れたい」と回答した割合	目　標	（　　）	（　　）	（　80%以上　）	（　80%以上　）	（　　）
	実　績			未実施	未実施	
②来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合	目　標	（　　）	（　80%以上　）	（　80%以上　）	（　80%以上　）	（　　）
	実　績		100%	未実施	84%	
③2島周遊ツアーへの参加者数	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　50名　）	（　　）
	実　績				未実施	

進捗状況説明

①新型コロナウィルス感染症対策を講じながらイベントが開催されているが、対面でのアンケートの実施は感染リスクの観点から見合わせた。
②観光案内所の利便性についてのアンケートは目標を達成した。
③2離島周遊ツアーは、チャーター便の就航チャーターに必要な機材の確保ができず未実施となった。

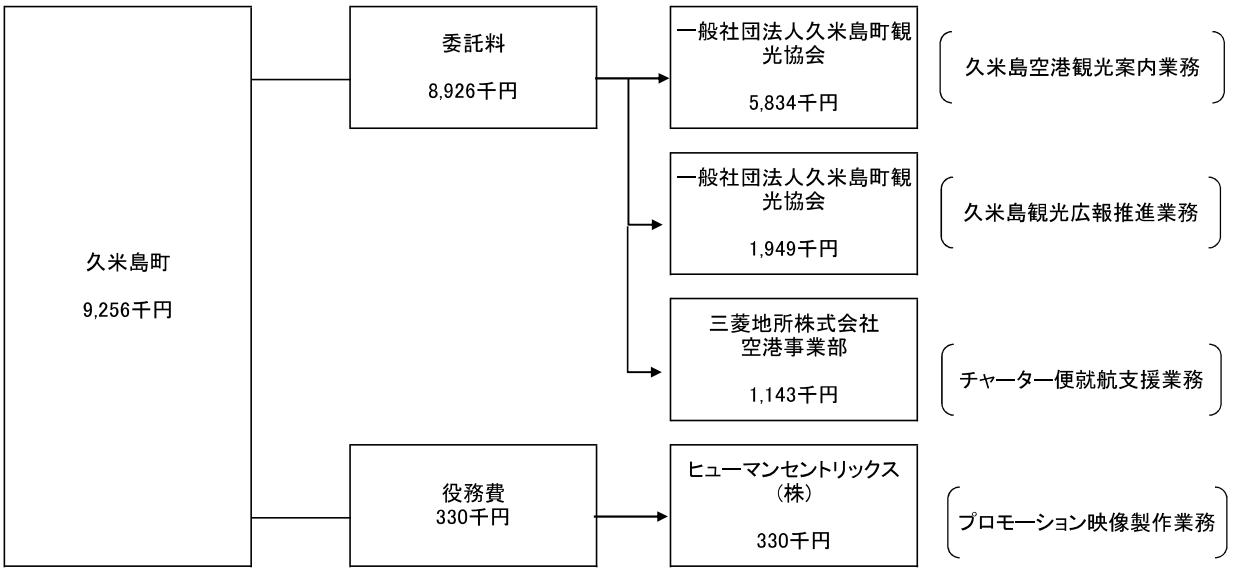
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①イベント時のアンケートは、感染症対策を講じ、接触が図れず未実施となった。 ②観光案内所でのアンケートは、感染対策を講じている方に、対面でアンケートを実施することができたが、サンプル数が少ない結果となった。 ③新型コロナウィルス感染症の影響で外国路線の旅客運送を休止していた機材を利用し、国内向けでチャーター便を計画していたが、機材が確保できず、未実施となった。	①②感染症禍におけるアンケート実施方法の見直しのほか、イベント開催中や観光案内所ではその場で回答を強いられるため、他の場所でも回答できる仕組みを構築する必要がある。 ③外国への旅客運送が再開し機材の確保が困難になったことを踏まえ、機材の選択に当たり調査をより強化する必要がある。

今後の取り組み方針

①②即時に回答を強いられない非接触型のアンケートの実施に取り組み、各アンケートの結果も踏まえた効果的な広報活動につなげていく。
③未定期航路へのチャーター便就航に向けて、時期や機材、ターゲット層の見直しを行い閑散期のチャーター便の運航につなげていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,256	9,256	7,405	1,851	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○当初計画していたイベント内容を変更したため、事業費の増額を行ったが、未実施業務があり、全体的には減額となった。予算規模は観光誘客に必要な経費であり、適正な規模であった。 ○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	体験交流型観光商品開発販売促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー3ー(1)ーイ 地域・産業間連携による「稼ぐ力」の向上
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー1ー(1)

事業内容	観光関連商品の売上増加を図るため、観光体験プログラムの販売促進及び民泊受入体制の整備・強化を行う。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,062	7,841	5,087	9,998	9, 998
	(b) 予算現額	8,537	5,184	10,809	9,998	14, 244
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,525	▲ 2,657	5,722	0	4,246
	(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	8,537	5,184	10,809	9,998	14,244
B. 執行済額		6,172	3,890	6,428	6,154	12,468
うち交付金充当額		4,937	3,112	5,142	4,923	9,974
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		72.3%	75.0%	59.5%	61.6%	87.5%
予算の状況の説明		新型コロナウィルス感染症の影響により、教育旅行の方面変更ならびにR3年度からの新規校がリピーターとなり新たな予約受入が増加し、教育旅行助成金の増額をした。 不用額1,776千円は、教育旅行参加人数が直前で変更（減少）になったことによるものである。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
・観光体験プログラムの販売促進	目　標	（体験プログラム構築）	（体験プログラム構築）	（体験プログラム構築）	（体験プログラム構築）
	実　績	体験プログラム構築	体験プログラム構築	体験プログラム構築	体験プログラム構築
・民泊受入体制の整備、強化	目　標	（受入体制整備、強化）	（　）	（受入体制整備、強化）	（受入体制整備、強化）
	実　績	受入体制整備、強化		未実施	受入体制整備強化

達成状況説明

・R3年度に引き続き、新型コロナウィルス感染症禍において実施が可能な安心安全な体験プログラムの構築を行った。
・民泊受入体制では、衛生管理研修や応急救護講座を行い、受入体制の整備を図った。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
観光体験プログラム売上額	目　標	（　）	（17,393,921円以上）	（14,035,802円以上）	（14,035,802円以上）	（　）
	実　績		580,100円	637,505円	13,669,050円	
【参考指標】体験プログラム利用者数	目　標	（　）	（656人以上）	（656人以上）	（656人以上）	（　）
	実　績		150人	194人	3,283人	

進捗状況説明

・新型コロナウイルス対策を講じながら、実施することで、教育旅行再開や一般利用者への販売促進をすることができたが目標を下回った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・全国旅行支援や教育旅行の再開があり比較的誘客の増加が図られたものの、各種プログラムに満遍なく受け入れることができなかったことが目標を下回った主な要因である。	・各体験プログラムの参加数に偏りがあるため、満遍なくガイドへの収入に繋げる必要がある。また、民泊受入家庭の高齢化により負担が大きくなっていることから対策が必要である。

今後の取り組み方針

・各体験プログラムに満遍なく参加者が集まるようより偏りのないプロモーションを行う。また、民泊の受入家庭における課題を整理し、現在の受入家庭を維持しつつ、新たな受入家庭の開拓に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,438	12,468	9,974	2,494	970

久米島町
12，468千円
→
委託料
12，468千円
→
一般社団法人
久米島町観光協会
12，468千円
（体験交流型観光商品開発販売促進事業委託）

（ほか対象外経費
970千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は特殊な業務内容であったため、随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は目標を達成するために必要とされる適正な予算規模になっている。 ○費目・使途について、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③	航空運賃コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー2ー(8)ーア
					人流・物流のコスト低減と情報通信基盤の強化
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成30～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー1ー(1)
事業内容	観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を負担する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　□補助　■負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
予算の状況	(a) 当初予算額	19,000	16,200	15,700	15,700	
	(b) 予算現額	17,000	13,500	15,700	12,700	
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,000	▲ 2,700	0	▲ 3,000	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	17,000	13,500	15,700	12,700	
	B. 執行済額	15,391	8,358	9,261	11,672	
	うち交付金充当額	12,312	6,686	7,408	9,338	
次年度繰越額		0	0	0	0	
執行率（%）(B/A)		90.5%	61.9%	59.0%	91.9%	
予算の状況の説明		入域客の実績に応じて事業費3,000千円を減額した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況			
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	目　標	（ 航空運賃の補助 ）	（ 航空運賃の補助 ）	（ 航空運賃の補助 ）	（ 航空運賃の補助 ）
	実　績	航空運賃の補助	航空運賃の補助	航空運賃の補助	航空運賃の補助
達成状況説明	航空運賃の補助を行い、運賃低減に寄与できた。本事業活用による旅客者は20,274人で、対前年度27.1%増であった。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
久米島町への観光入域者数	目　標	（　）	（118,000人以上）	（122,000人以上）	（126,000人以上）	（　）
	実　績		54,783人	54,206人	84,779人	
進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症収束の兆しが見えたが、入域者数の回復が低調で目標値を下回った。					

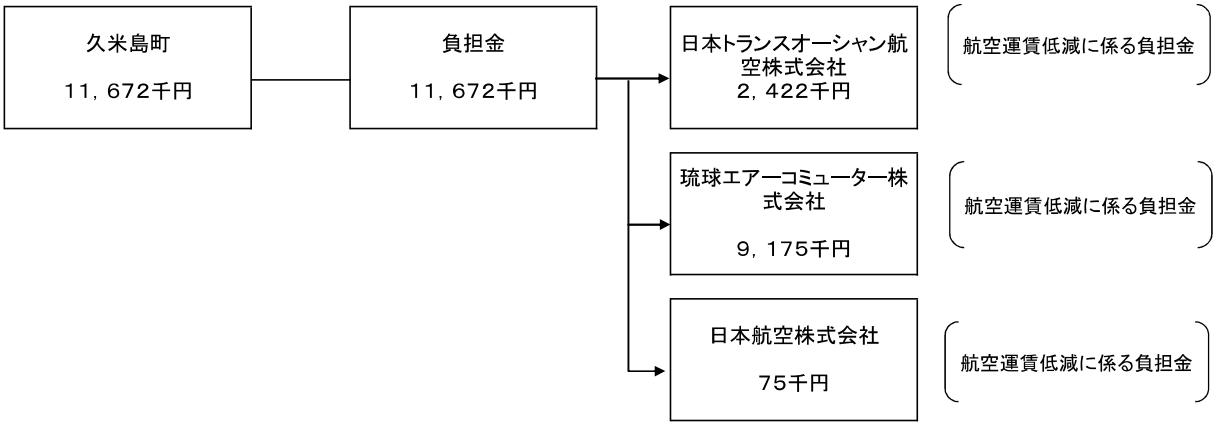
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・新型コロナウイルスの影響により久米島町への入域者数が減となり、前年度より入域者数が伸びてきているが未だ回復には至らず、目標を達成することができなかった。	・新型コロナウイルスの収束を見据え、今後も本事業による取り組みを継続していくとともに、利用者が増加するような仕組みや取り組みの検討が必要である。

今後の取り組み方針

・運賃の低減に関する周知や、旅行先として訪れたいと考えてもらえるよう他事業との連携の強化を通じて観光地としての魅力の向上に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,672	11,672	9,338	2,334	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については久米島と沖縄本島を結ぶ航空会社3社を選定している。費用負担の協定書を締結のうえ実施しており、選定方法は妥当である。 ○新型コロナウイルス等の影響により搭乗者数が伸びず不用が生じたが、予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費目、使途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-④	久米島観光ブランディング事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー3ー（2）ーウ 多彩かつ質の高い観光の推進
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	令和4～6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）
事業内容	島内での消費拡大を図るため、久米島観光における「食」をテーマとしたブランド化として、ご当地グルメや特産品・お土産を開発する。				
効果発現年度	□当年度　■後年度（R5年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度				
予算の状況	(a) 当初予算額	9,295				
	(b) 予算現額	9,295				
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	9,295	0	0	0	0
B. 執行済額		7,040				
うち交付金充当額		5,632				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		75.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		・不用額2,255千円は、当初計画していた参加飲食店の減少によるものである。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況			
		R4年度			
ご当地グルメの開発	目　標	（　2品　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	3品			
新たな特産品・お土産物の開発に係る調査	目　標	（　調査　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	調査			
達成状況説明	・ご当地グルメの開発は、関係者等と協議し、ご当地グルメの定義を定め、3種類のグルメを開発した。 ・新たな特産品・お土産の開発に係る調査は、飲食店や町民、観光客等にアンケート調査等を実施した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（　年度）	R4年度			目標値（R5年度）
一人当たりの観光消費額　食事・お酒	目　標	（　　）	（　—　）	（　　）	（　　）	（ 12,851円）
	実　績		—			
一人当たりの観光消費額　お土産・買い物	目　標	（　　）	（　—　）	（　　）	（　　）	（ 8,329円 ）
	実　績		—			
進捗状況説明	・ご当地グルメが完成し、令和5年度より販売促進のためのプロモーション活動を行う。 ・新たな特産品やお土産については、アンケート調査を行い、令和5年度以降に販売促進の取組を行う。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・10店舗の参画によるご当地グルメの開発を計画していたが3店舗に留まった。	・想定していた店舗数に至らなかった要因に、各店舗における人手不足や開発効果の見極めといった要因が挙げられることから、実施体制の改善やブランド化の重要性を促す必要がある。

今後の取り組み方針

・開発したグルメや久米島産品等を久米島フェア等に出展するとともに、島全体の「食」をテーマとしたブランドのプロモーションを積極的に行い消費拡大につなげていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,040	7,040	5,632	1,408	0

久米島町
7，040千円

委託料
7，040千円

一般社団法人
くめじまDMO
7，040千円

（久米島観光ブランディング事業委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業者の参画が計画よりも減少したことにより生じたものである。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	島外保育士確保対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア
					子ども・子育て支援の充実
担当部課名	福祉課	事業実施（予定）年度	令和3～13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4-(2)
事業内容	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R3年度	R4年度			
予算の状況	(a) 当初予算額	4,400	3,500			
	(b) 予算現額	4,400	1,200			
	(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 2,300			
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計 (b+d)	4,400	1,200			
B. 執行済額		907	28			
うち交付金充当額		725	23			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		20.6%	2.3%			
予算の状況の説明		不用額1,172千円については、当初見込んでいた保育士確保数（3名）に満たなかったことによるものである。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況				
		R3年度	R4年度			
島外保育士の渡航費、転居費の支援	目　標	（8件）	（3件）	（　）	（　）
	実　績	2件	1件		
達成状況説明	当初予定していた3名の保育士確保に向けて、沖縄本島開催の離島市町村対象の合同就職説明会や町ホームページ、沖縄県保育士・保育所支援センターホームページに掲載し周知を行ったが、確保は1名のみとなった。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（R3年度）	R3年度	R4年度		目標値（　年度）
待機児童数（保育所等利用待機児童数調査）	目　標	（10人 R2.4.1時点）	（9人 R4.4.1時点）	（5人以下 R5.4.1時点）	（　）	（　）
	実　績		3人 R4.4.1時点	13人 R5.4.1時点		
進捗状況説明	・13人の待機児童が生じ、目標値を上回った。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・保育士1名を確保した一方、保育士の退職者が10名生じたため、定員数の受入ができない状況になったことが待機児童数が増加した主な要因である。	・保育士を確保するために、まずは久米島町の保育施設はもとより、長期間職に就けるよう離島における住環境を知る必要がある。

今後の取り組み方針

・関係機関・専門学校等への広報を強化するとともに、保育施設見学ツアーを開催し、保育施設や住環境等を見学・体験してもらうことで保育士の確保につなげていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28	28	23	5	0

久米島町 28千円 → 補助金 28千円 → 保育業務従事者（県内1件） 28千円

（久米島町島外保育士確保対策事業補助金）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である保育士は、交付要綱に基づき選定しており、妥当であったと考える。 ○離島ということもあり、渡航費用や移動費用が負担となることから予算規模も妥当であったと考える。 ○離島で生活するための必需品を揃える経費の一部を支援することは補助事業の内容から妥当であった。 ○費目・使途についても、精算時に確認等を行い、目的に即し必要なものと判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	英語指導員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー5ー(3)ーア 国際感覚を身に付ける教育の推進
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー3ー(1)

事業内容

小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。

効果発現年度

■当年度　□後年度（　　年度）

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,800	6,632	7,044	7,292	11, 190
	(b) 予算現額	1,800	6,735	6,937	7,292	9, 107
	(c) 増減額 (b-a)	0	103	−107	0	−2,083
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	1,800	6,735	6,937	7,292	9,107
	B. 執行済額	1,755	6,735	6,845	7,183	9,468
	うち交付金充当額	1,403	5,388	5,476	5,746	7,574
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率（%）(B/A)	97.5%	100.0%	98.7%	98.5%	104.0%

予算の状況の説明：計画どおりに執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
英語指導員を配置し、外国語授業等での支援を実施	目　標	（小学校2名）	（小学校2名）	（小学校2名）	（小学校2名 中学校1名）
	実　績	小学校2名	小学校2名	小学校2名	小学校2名 中学校1名
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：小学校6校に2名、中学校2校に1名、合計3人の日本人英語指導員を派遣し、外国語授業の支援を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったかの割合	目　標	（　）	（80%以上）	（85%以上）	（85%以上）	（　）
	実　績		87%	87%	86%	
管内2中学校の全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差	目　標	（　）	（　）	（　）	（−3ポイント）	（　）
	実　績				0ポイント	

進捗状況説明：
・児童生徒へのアンケートでは、86%が英語に対する興味・関心が高まったと回答しており、目標を達成できた。
・全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差が0ポイントに向上し目標を達成できた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・小学校は2名で巡回することでより多くの授業を支援できたことから、目標値を上回ったものの、R3年度以前よりは低下する結果となった。 ・中学校は本年度から支援しているが教諭によってはより効果的な活用の余地がある。	・R3年度以前の結果から低下した理由を分析し、より効果的な取組となるよう工夫が必要である。 ・英語指導員の配置効果が高まるよう、教諭と英語指導員の連携や、授業の内容・進め方を改善する必要がある。。

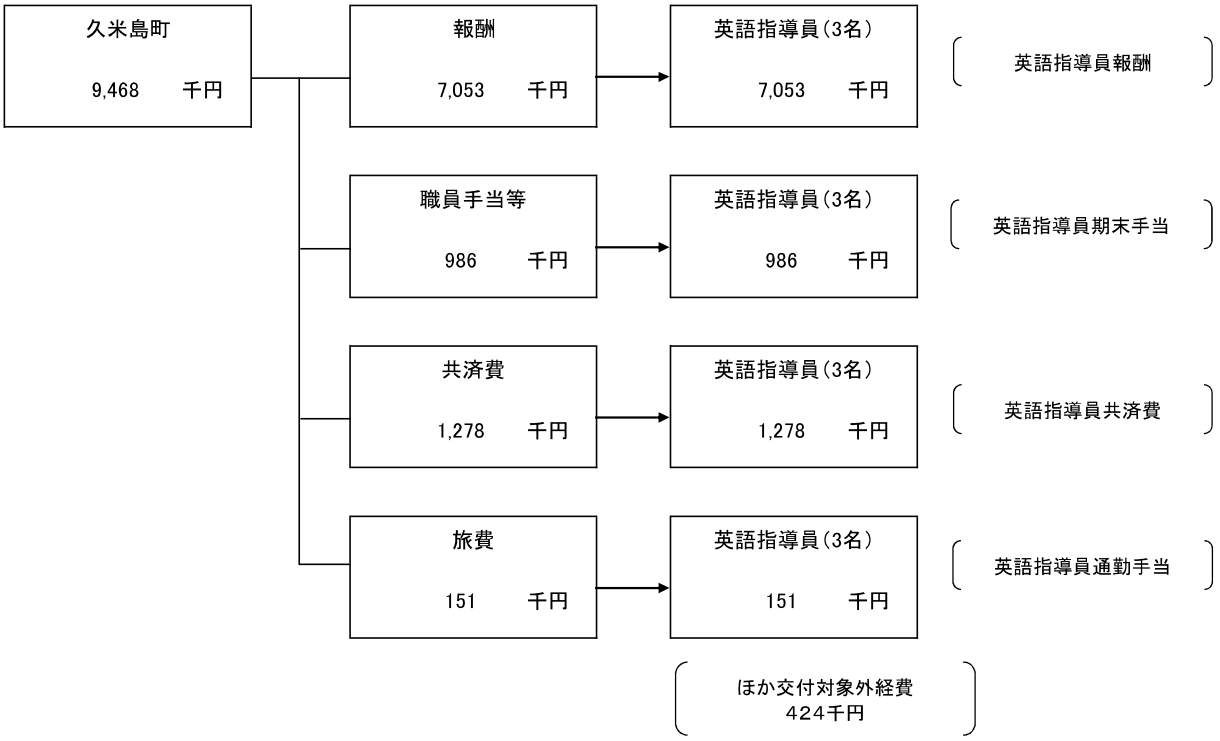
今後の取り組み方針

・学級担任と情報交換を行い、各学級における習熟度等の状況を踏まえた、きめ細かな支援内容を模索し授業の支援を実施していく。

・英語指導員の研修会や、学校側との定期的な連絡会等の開催するなど、引き続き担当教諭と指導員の十分な打合せ時間を確保し、連携体制の構築、強化に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,892	9,468	7,574	1,894	424



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、英語指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○予算規模は、事業に見合った規模と考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定している、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-②	基礎学力向上学習支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー5ー(2)ーア 確かな学力を身に付ける学校教育の充実
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー3ー(1)

事業内容	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,109	7,311	8,057	8,777	9, 174
	(b) 予算現額	7,109	7,311	7,948	8,777	7, 208
	(c) 増減額 (b−a)	0	0	−109	0	−1,966
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A.　計 (b+d)	7,109	7,311	7,948	8,777	7,208
B.　執行済額		6,820	6,805	8,006	8,514	7,440
うち交付金充当額		5,456	5,444	6,405	6,811	5,952
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		95.9%	93.1%	100.7%	97.0%	103.2%

予算の状況の説明：事業計画どおりに執行できた。

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
基礎学力学習支援員を配置し、学習支援を実施	目　標	（　3名配置　）	（　3名配置　）	（　3名配置　）	（　3名配置　）
	実　績	3名配置	3名配置	3名配置	3名配置
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：計画どおり小学校3校に3名の学習支援員を配置した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（　年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（　年度）
沖縄県達成度調査において、国語・算数における県平均との差　高学年（5年生・6年生）	目　標	（　　）	（県平均 +1点以上）	（県平均 ＋2点以上）	（県平均 ＋7点以上）	（　　）
	実　績		＋5.9点	＋3.7点	＋5.1点	
沖縄県達成度調査において、国語・算数における県平均との差　中学年（3年生・4年生）	目　標	（　　）	（県平均 +8点以上）	（県平均 2点以上）	（県平均 +6点以上）	（　　）
	実　績		＋3.4点	＋3.5点	＋3.5点	

進捗状況説明：沖縄県学力到達度調査を県平均と比較すると、高学年（5年生・6年生）+5.1点、中学年（3年生・4年生）+3.5点といずれも目標値を下回った。

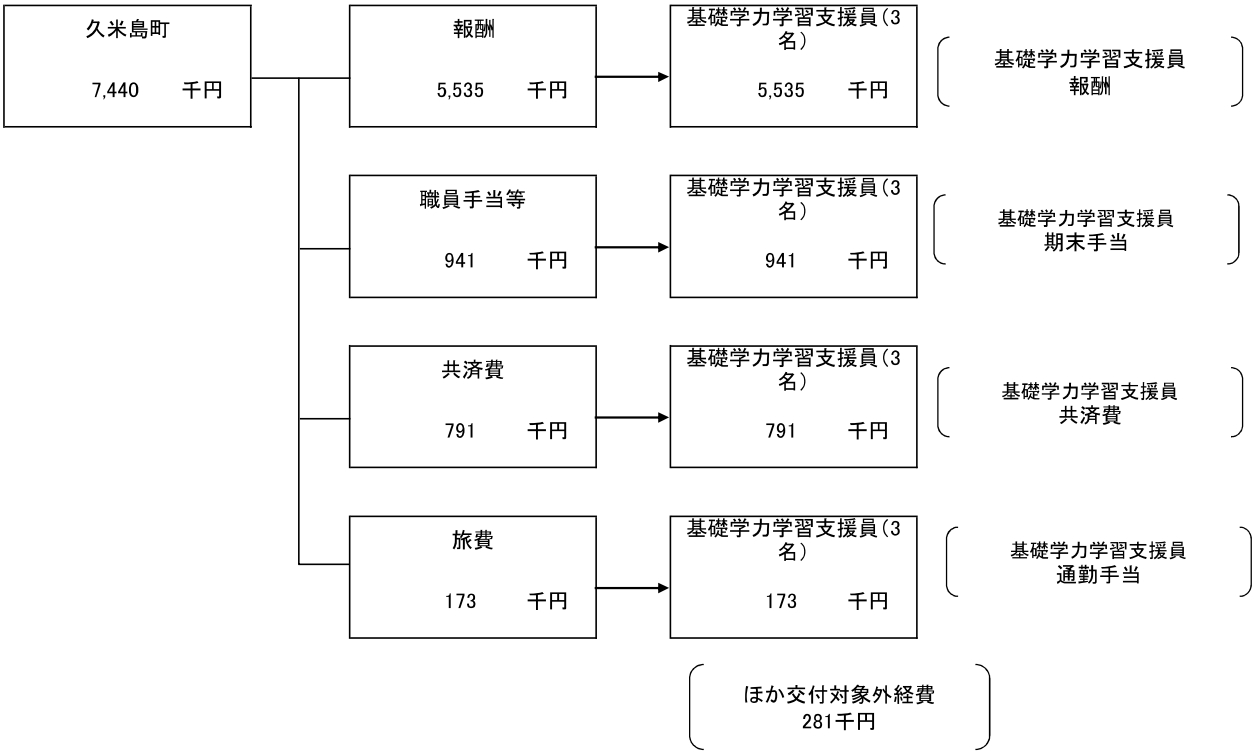
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・学級担任と支援員が連携しながら、個に応じた支援に取り組んでいるが、学習支援を必要とする児童が増加してきており、必ずしも十分な支援となっていないことが要因と考えられる。	・学習支援を必要とする児童の増加に対応できる体制の整備や、効率的な支援の実施が必要である。

今後の取り組み方針

・学習支援を必要とする児童の学力定着度等の実態を把握し、支援員の配置人数を見直すとともに、より具体的な支援計画を作成することで、効率的な支援ができるよう取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,721	7,440	5,952	1,488	281



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、基礎学力向上指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○不用額はでたものの、適正な予算規模であったと考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。学習指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-③	特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー5ー(2)ーウ 個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー3ー(1)
事業内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額	29,539	33,649	39,816	36,816	38, 692
	(b) 予算現額	29,539	33,649	33,744	36,816	26, 839
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	-6,072	0	-11,853
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	29,539	33,649	33,744	36,816	26,839
	B. 執行済額	29,099	32,299	34,369	30,983	27,726
	うち交付金充当額	23,278	25,839	27,495	24,786	22,181
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率（%）(B/A)	98.5%	96.0%	101.9%	84.2%	103.3%
	予算の状況の説明	特別支援教育支援員について必要な人員を確保できず、2名不足となったため事業費を減額した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
特別支援教育支援員を配置し、必要とする児童生徒の支援を行う。	目　標	（小学校12名 中学校3名）	（小学校11名 中学校5名）	（小学校13名 中学校2名）	（小学校11名 中学校4名）
	実　績	小学校11名 中学校 5名	小学校9名 中学校7名	小学校11名 中学校2名	小学校11名 中学校2名
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：支援を必要とする児童生徒数を勘案し、小学校は目標11名に対して11名、中学校は目標4名に対して2名を配置した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（　年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（　年度）
特別支援教育支援員の対応への保護者の満足度	目　標	（　）	（85%以上）	（85%以上）	（89%以上）	（　）
	実　績		88%	87%	88%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・満足度に関するアンケートの結果は、88%であり目標値を少し下回った。

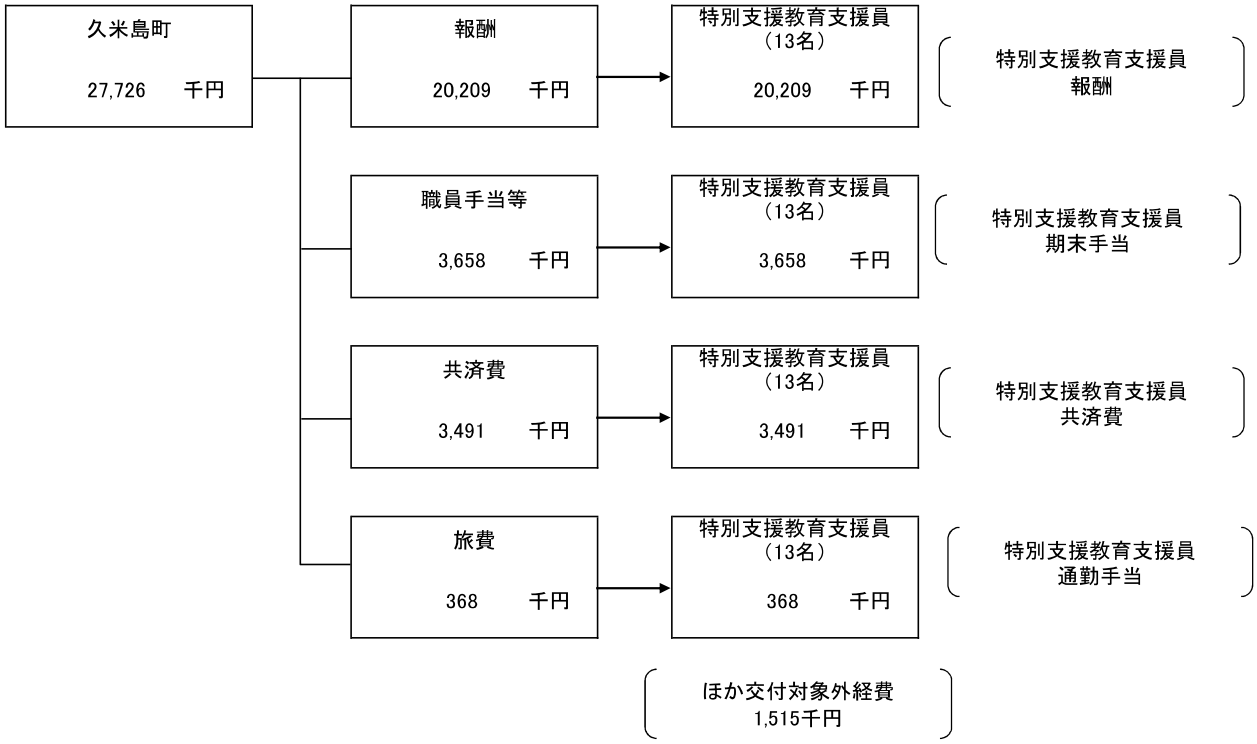
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・特別支援教育支援員の必要数を確保できず、児童の異なる障害の程度に応じた支援が必ずしも十分に実施できなかったことが目標値を下回った要因と考えられる。	・特別支援教育支援員を適正に配置し、児童生徒に求められる支援内容に応じてきめ細やかに対応する必要がある。

今後の取り組み方針

・久米島町内に限らず町外からも支援員を担う人材を確保できるよう町外向けの募集に取り組む。また、研修等の実施を通じて特別支援教育支援員の資質を向上し、対応力の強化につなげていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,241	27,726	22,181	5,545	1,515



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、特別指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○不用額が生じたものの、適正な予算規模であったと考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。特別教育支援員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-④	児童・生徒各種大会派遣支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー5ー（1）ーウ
					公平な教育機会の確保と学習環境の充実
担当部課名	教育課	事業実施（予定）年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－（1）

事業内容	中学校の課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加させることで島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、渡航費及び宿泊費の一部を補助する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,220	6,720	6,767	6,716	6, 596
	(b) 予算現額	7,220	6,720	5,064	5,574	5, 796
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	-1,703	-1,142	-800
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	7,220	6,720	5,064	5,574	5,796
	B. 執行済額	6,344	5,414	4,079	4,983	5,507
	うち交付金充当額	5,075	4,331	3,262	3,987	4,406
次年度繰越額						
執行率（%）（B/A）		87.9%	80.6%	80.5%	89.4%	95.0%

予算の状況の説明：当初予算では6,596千円を見込んでいたが、新型コロナウイルスの影響により、派遣旅程の短縮、大会参加辞退等の理由に伴い800千円の予算を減額した。

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給	目　標	（派遣延べ人数 650名）	（派遣延べ人数 620名）	（派遣延べ人数 610名）	（派遣延べ人数 590名）
	実　績	601名補助	409名補助	492名補助	539名補助
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：新型コロナウィルス感染症対策を講じた上で各種大会等が開催されたこともあり、当初目標の590名には及ばなかったが539名（延べ人数）を派遣した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（　年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（　年度）
派遣によって生徒の視野が広がったかを含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	目　標	（　）	（80%以上）	（80%以上）	（80%以上）	（　）
	実　績		82%	84%	83%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：管内の2中学校に在籍する生徒の保護者に対してアンケートを実施。（回答数114名）
回答のうち94名（83%）が派遣に対し肯定的意見であった。
⇒「各種大会等への参加は離島では経験できないこと、得ることがたくさんあり、刺激を受ける良い機会」「子供の自信につながる」など

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・新型コロナウイルス感染症における取扱い基準等の緩和により、各種大会等がほぼ予定通り開催されたため、派遣人数も前年を上回った。	・各種大会等の年間計画及び派遣予定人数を確認し、引き続き「島外の人との交流や競争の機会」を確保する必要がある。

今後の取り組み方針

・新型コロナウイルス感染症の取扱い基準等が緩和されたことに伴い、各種大会等の開催もコロナ前に戻る見込みであることから、引き続き派遣支援を行うことで大会等参加の機会を確保する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,508	5,507	4,406	1,101	1

久米島町 5,507千円 → 補助金 5,507千円 → 学校 5,507千円 → 保護者 5,507千円

（ほか、交付対象外経費　1千円）

【補助内容】
・生徒1名に航空チケット代5,000円、宿泊費上限3,000円／1泊
・地区代表（県大会等）派遣の場合
　生徒1名に航空チケット代全額、宿泊費上限5,000円／1泊

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は交付用に基づき選定しており、妥当である。 ○発生した不用額はコロナの影響による大会参加辞退や旅程短縮に伴うものであるため、補助対象大会、参加人数等について適正な予算規模であった。 ○類似する補助が出るものについては対象外とし、受益者には応分の自己負担も発生しているため妥当であると考える。 ○実績確認で費目・使途を審査しており、真に必要なものと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町

令和４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑤	小中アシスト相談員事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章ー5ー(2)ーイ 豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	令和4～13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲー3ー(1)

事業内容	不登校児童生徒の登校復帰、不登校者数の減少を目的として、小学校、中学校にアシスト相談員を配置する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算の状況	(a) 当初予算額					2,363
	(b) 予算現額					2,017
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	-346
	(d) 繰越額					0
	A. 計 (b+d)	0	0	0	0	2,017
B. 執行済額						2,002
うち交付金充当額						1,602
次年度繰越額						0
執行率（%）(B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.3%
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R4活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
小中アシスト相談員を1名配置し、登校支援を実施	目　標	（　）	（　）	（　）	（1名配置）
	実　績				1名配置
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	計画どおりアシスト相談員を１名配置した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
不登校者数減少率	目　標	（　）	（　）	（　）	（6.00%）	（　）
	実　績				6.25%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	・不登校者のうち１名の登校復帰を図ることができたため、実績は6.25%となり目標値を上回った。					

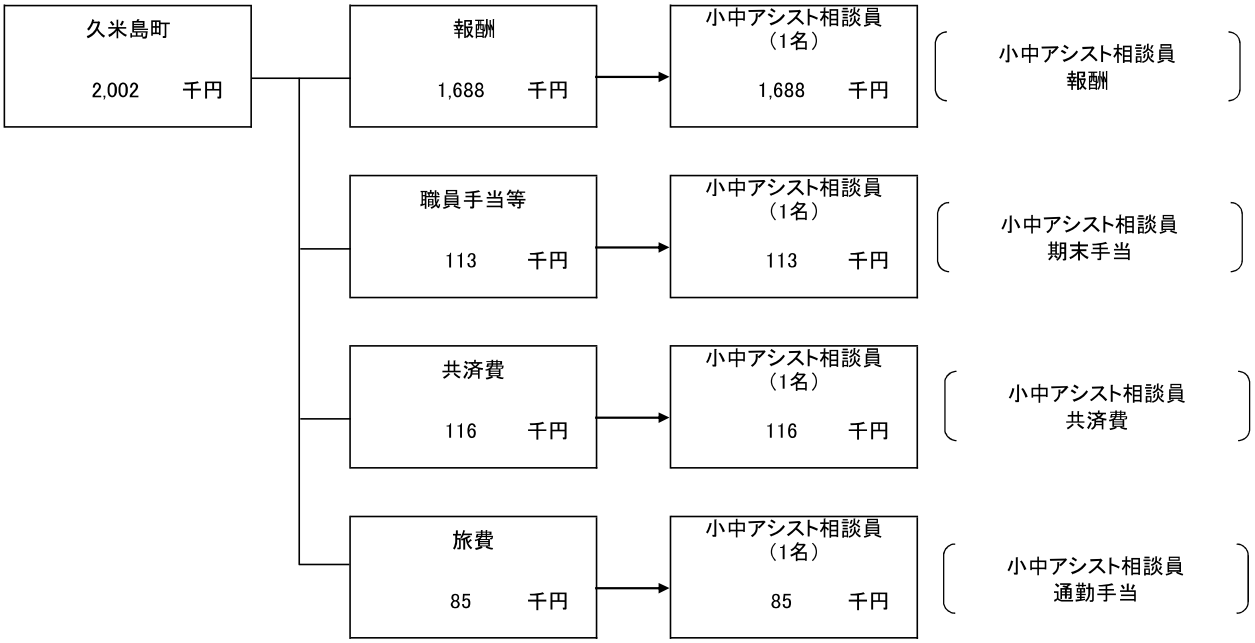
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・アシスト相談員の支援により不登校者を1名解消できたが、いじめ、暴力など不登校につながる問題行為が依然として見受けられる。	・いじめ、暴力等の問題行為を積極的な認知により、事案が深刻化する前に対処する必要がある。

今後の取り組み方針

・アシスト相談員を1名増員し2名体制で、児童生徒の状況の把握や、いじめ、暴力等の問題行為に早期発見・対応することで、新規の不登校者を抑制しつつ、不登校者の登校復帰につなげる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,002	2,002	1,602	400	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、アシスト相談員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○不用額が生じたものの、適正な予算規模であったと考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。アシスト相談員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	